

野々市歴史イベント 秋季パネル展

「町から市へ -合併後のあゆみ-」

私たちの郷土である野々市市は、古くから連綿と人々の営みが続き、縄文時代の御経塚遺跡や白鳳寺院の末松廃寺が広く知られています。中世には加賀の守護所（富樫館跡）が置かれるなど、交通の要所として加賀の政治、経済、文化の中心地として栄えてきました。

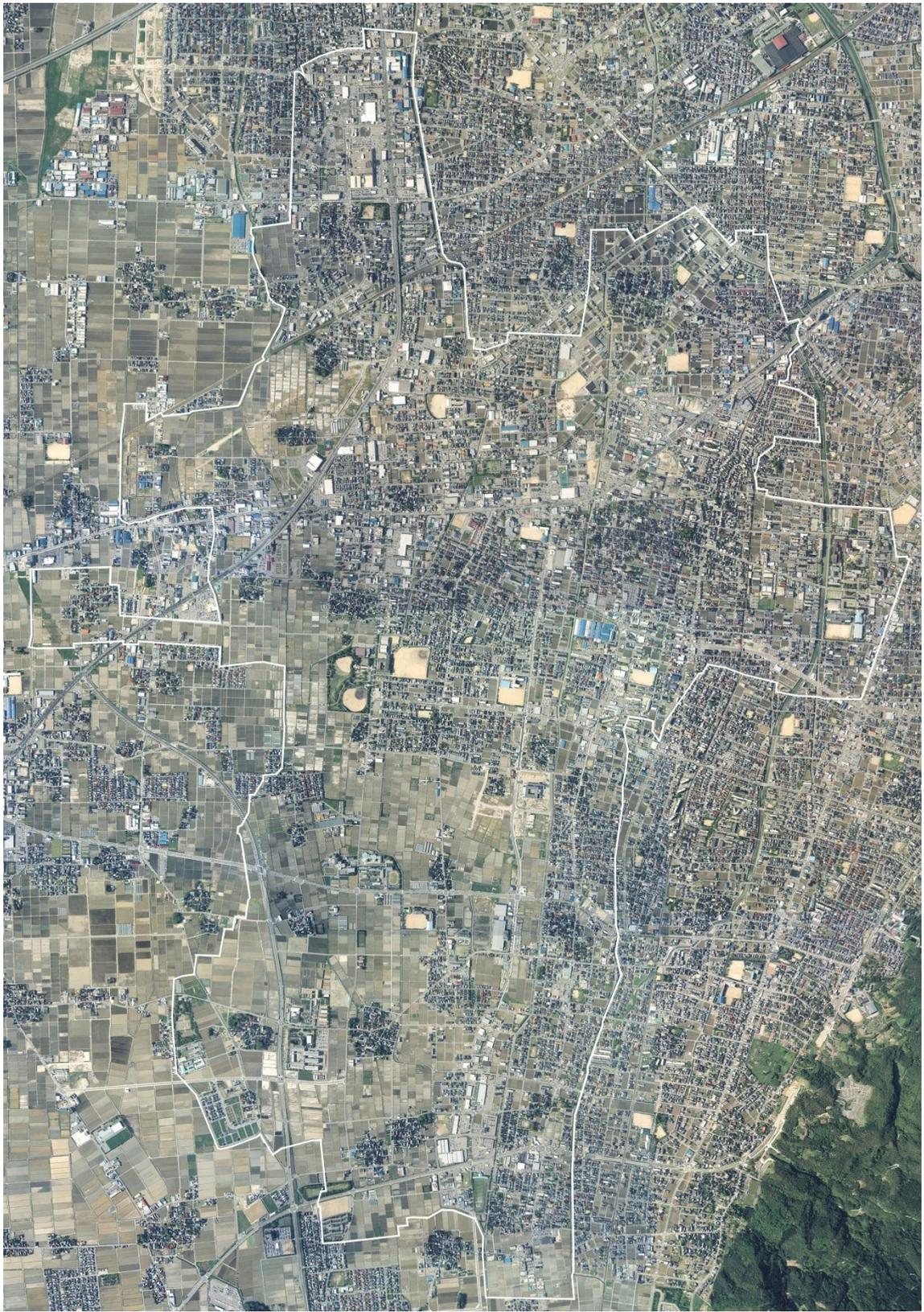
現代に入り、昭和30年から32年にかけて幾多の課題を乗り越えて、野々市町と富奥村の合併、郷村と旧押野村の一部編入によって新野々市町が誕生し、以降輝かしい発展を遂げてきました。

そして、平成23年11月11日には石川県下11番目の市として「野々市市」が誕生しました。今回は市制施行を記念して、合併編入後の昭和30年代から40年代のなつかしい風景と、それを元に同じ場所、同じ角度から撮影した現在の写真を展示します。今と昔の写真を比較し、時の移り変わりを感じてみてください。

航空写真

【1962年（昭和37）・2004年（平成16）】





2

押野の通りを進む野々市町編入祝賀行列

たかみむすび
東より、左奥の瓦屋根は高皇産靈神社

【1957年（昭和32）・押野1丁目】



3

開通まもない国道8号（現:国道157号）

北陸鉄道石川線の跨線橋より南西方向を望む

【1958年（昭和33）】



4

金沢工業高等専門学校（現:金沢工業大学）

屋上より西方向の本町を望む

【1963年（昭和38）】



5

野々市町役場と旧野々市小で開校した 北陸電波高校の通学生

【1957年（昭和32）、現:図書館前・本町2丁目】

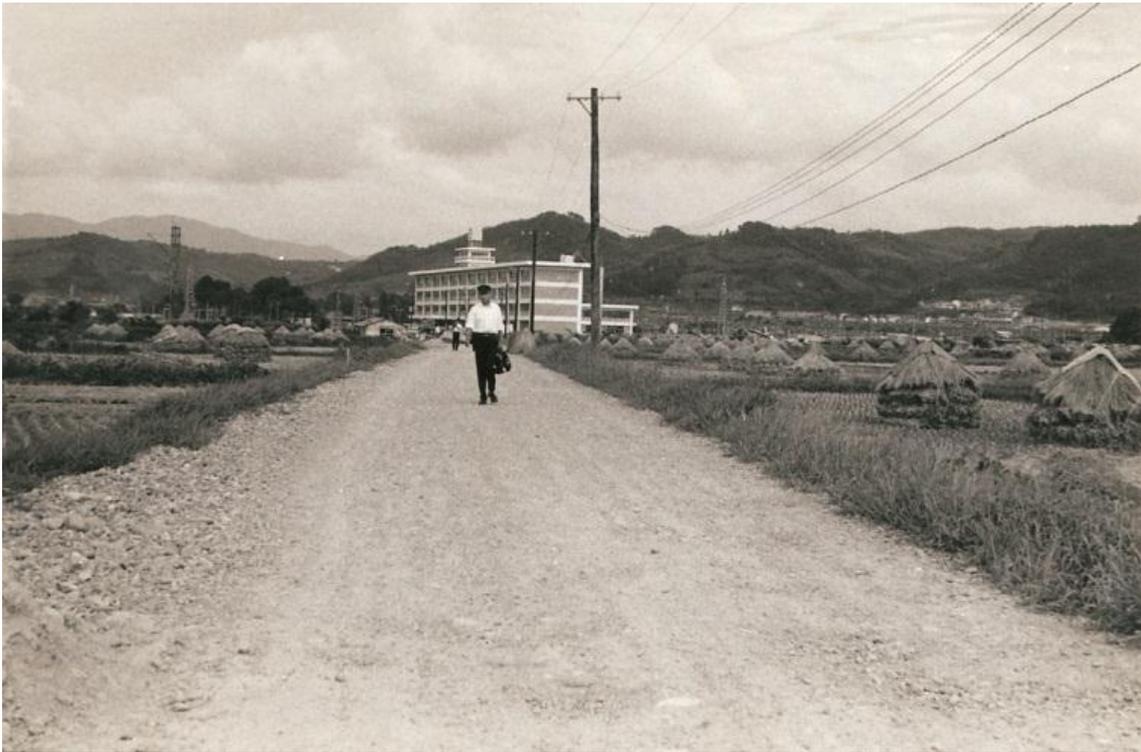


6

開校した金沢工業高等専門学校と通学生

本町より東方向を望む（現:金沢工業大学）

【1963年（昭和38）】

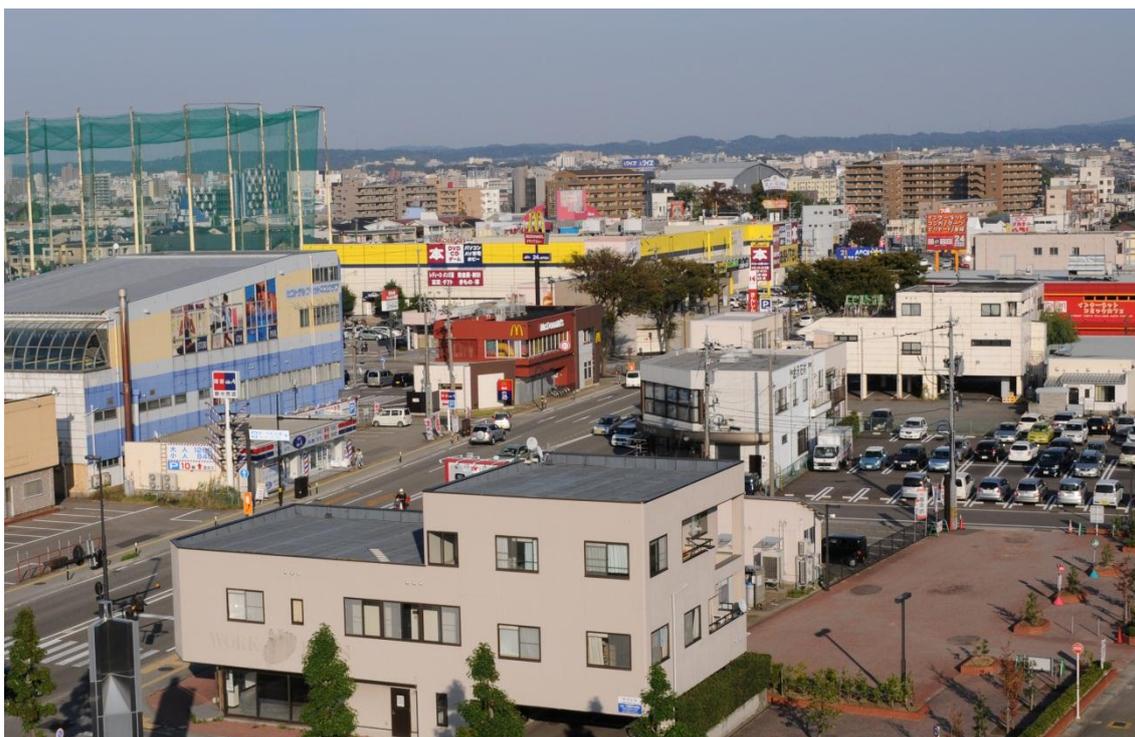


7

野々市中学校屋上（現:文化会館フォルテ）

より北東方向を望む

【1963年（昭和38）】



8

野々市中学校屋上（現:文化会館フォルテ）

より西方向を望む

【1963年（昭和38）】



9

国道8号（現:国道157号線）

沿いの堀内団地を東より望む

【1959年（昭和34）、堀内4・5丁目】



10

野々市公民館郷分館（現:郷公民館）

を東より望む

【1957年頃（昭和32）、田尻町】



11

工事が進む加賀産業道路を西より望む

(左の集落は下新庄)

【1972年頃（昭和47）】

